

～町田国際交流センターだより～

日本の一般家庭で異文化交流 “ホームビジット”開催!



6月11日(日)、国際交流部会でホームビジットを実施しました。

コロナウイルスによる制限が無かった時から、実に4年ぶりの開催です。

アメリカはボストンにあるノースイースタン大学から日本語を学んでいる学生13名が来日し、日本の一般家庭での交流を1日体験するホームビジットに参加してくれました。7家庭がホストファミリーとして参加、我が家では2名の学生を受け入れました。たこ焼き作りから始まり、住宅街を散歩して見て回った後は、町田の街で食べ歩きグルメを楽しみました。最後には大勢の学生と食事をしながら楽しい交流の時間を持って終了しました。

アメリカの大学から来た学生達、生まれや国籍は多様でしたが、日本に興味を持ってくれたきっかけについては、日本の漫画やアニメといったポップカルチャーを子供の頃に見て大好きになったからとの事でした。みんな、日本語が本当に上手!

各家庭で貴重な体験をして楽しい時間を過ごす事が出来たようで、終了時に集まった時には、みんなが笑顔でワイワイと話し、お別れの際に名残り惜しそうにしていた事が印象に残りました。日本語で書かれたお礼のお手紙を頂き、とても嬉しい気持ちになりました。

ぜひ次の機会もホームビジットの受け入れをしたいと思うと同時に、この素晴らしい機会を多くの方に体験して欲しいと思いました。

(国際交流部会 福田 成生)



ぼろんていえ

Volontiers! の由来：誘われたとき、頼まれたとき「喜んで!」と笑顔で応えるフランス語

町田国際交流センターではボランティアを中心に、日本にいる外国の方を支援したり、コミュニケーションの活性化をはかるなど、様々な活動を行っています。

国際交流事業やボランティアのお問い合わせは、町田国際交流センターまで



[南アフリカの植物の魅力を探る] 開催

「南アフリカの植物の魅力を探る」をテーマに6月25日に町田市民フォーラム3階ホールにて講演会(考花学)とネイティブフラワーのデモンストレーションを開催しました。町田市は南アフリカとインドネシアのホストタウンです。国際理解・協力部会では、南アフリカの事を知りたい方が多い事を知り、もう少し身近な事をと部会で話し合い南アフリカの国花キングプロティアと大自然の植生について、会場の満員の皆様とレクチャーを聞いて植物を観て理解を深める事になりました。

第一部は花文化コメンテーター 川崎景介氏による、映像の説明があり、今世界にある花の10パーセントは南アフリカ原産であること、雨季になると土だらけの大地(ナマクワランド)は花畑になること等!南アフリカの豊かな自然にウキウキした気分となりました。

第二部はフラワーアーティスト 川崎景太氏によるユニークな姿の南アフリカの花を使ったデモンストレーションで更に植物の美しさを知りました。

AOIHOSHIによる国花キングプロティアに生体電流をながした植物音楽(イタリア開発の機械使用)の音色の響きにも驚きました。

川崎景太氏の作品は南アフリカと日本の花・菊を取り入れたリバーシブルのデザインで町田市で採取した竹の器にアフリカの草原をイメージした植物と文化のコラボレーションでした。AOIHOSHIの即興曲と相まって流れるように美しいデザインとなりました。

出演者のご協力と、今回は町田市共催イベントになりました事にも感謝申し上げます。

(国際理解・協力部会 山口 美知子)



イベント「囲碁で遊ぶ国際交流」を開催！

7月23日（日）、町田市民フォーラムの視聴覚室で、国際交流部会主催の「囲碁で遊ぶ国際交流」イベントを開催しました。このイベントは、今年で2回目となる国際交流部会のオリジナル企画です。

当初は囲碁初心者の方を対象に企画しましたが、今年は趣向を変えて、以下の2つの目的を持つイベントとしました。

- ・外国人と日本人の囲碁初心者が一緒に囲碁体験を楽しめる場
- ・既に囲碁に親しんでいる外国人・日本人も本格的に囲碁を楽しめる場

プログラムは午前中に2時間の囲碁体験教室を行い、午後1時からフリータイムに入りました。午前中の囲碁体験教室では、初心者から上級者まで幅広いレベルの参加者が楽しむことができるトーナメントが行われました。昼食を挟んだ午後のフリータイムでは、囲碁ベテランスタッフとの対局が楽しめるように配慮しました。

囲碁体験教室は、視聴覚室がほぼ満席となる大盛況ぶりでした。明るい雰囲気と和気あいあいの中、真剣に取り組む参加者たちの話し声が聞こえてきました。参加者からは、「囲碁教室の2時間で国際交流もできました」といった喜びの声や感謝のメールを多くいただきました。

イベントの集客や支援ボランティアの募集にあたり、町田国際交流センター内の多くの部会のご支援に心から感謝しています。今後も囲碁を通じて多様な参加者たちが楽しい時間を共有し、国際交流を深める場を提供していきたいと考えています。

（国際交流部会 石垣 純）



2023年8月、納涼盆踊り大会の復活！

夏の風物詩のひとつ、盆踊り。日本各地の民謡等が、和太鼓の拍子と共に次から次と流れます。実に4年ぶりの開催となった盆踊りに、9名の外国人の方々が参加しました。フィリピン、トルコ、中国、アメリカ、インドネシアの方々でした。浴衣を持参された方には部会員が着付けをして、午後4時よりフォーラム3階和室にて交流会を行いました。参加者と部会員が順番に自己紹介をして、その後盆踊りの定番『炭坑節』『東京音頭』を紹介、参加者の皆さんに振りを憶えて頂きました。和室の畳の上で円陣を組み、数回繰り返し練習しました。午後6時前に盆踊り会場である小田急町田駅ビル東口広場に到着。開会式の後、踊りが始まると、参加者の皆さんが積極的に踊りの輪に加わり、初めての曲でも果敢に挑んで盆踊りを楽しみました。踊りの合間には、一般の方や部会員と写真を撮ったり、談笑している光景が見られました。午後8時まで汗びっしょりになりながら踊り、話し、笑い、差し入れの飲み物やおむすびを頼り、存分に日本の夏を満喫して頂きました。参加の動機を尋ねると、全員が「盆踊りというものを体験してみたかった」来日してまだ2ヶ月の方から、4～7年目の方もいました。これを機に、地元の盆踊りにも気軽に参加されることでしょう。主催の六生会様のご厚意に、一同感謝申し上げます。

(国際交流部会 高瀬 博子)



編集後記

もう秋。9月というのに、まだ夏の暑さを残し、そして台風の来る季節。月の半ばからは秋の長雨「霖雨」と呼ばれるうっとうしい長雨も、季節の表情としてさけられないようです。それでも朝夕の涼しさは、夏の日に暑さを我慢していた方々にとっては有難いものです。

8月には、オリエンテーションが開催され、多くの方がここ国際交流センターを訪れ、熱心に説明を聞いて下さいました。この夏場、様々な活動で頑張ってくださったボランティアの皆様もお疲れ様でした。

今年の秋は、ここ数年の活動の制約から解放され、国際交流センターのイベントの予定も増えています。国際交流センターの組織も、いまやいろいろなジャンルに分かれ、さまざまなスキルを持った人々が活動しておりますが、組織が大きくなり、お互いの顔を知らないといった悩みも生じてくるようです。昔あったような、ボランティアの皆さまが一同に会し、おのこの活動を披露する機会があれば良いのだけれどと考えてしまいます。